

## 総おどり体操講習会運営ガイドライン

令和2年6月1日（第1版）

令和2年7月9日（第2版）

福祉部高齢者支援課

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の防止と総おどり体操講習会の両立を進めるにあたり、感染症対策を図りながら講習会運営を行っていくための基本的な考え方を示すものである。

### 1. 基本的な感染症対策の徹底（講師・参加者共通）

- ・ 自宅で検温をして発熱がある場合や体調不良の場合は参加を控えること。
- ・ 体操をしているとき以外はマスクを着用し、咳エチケットを徹底すること。
- ・ 「3密」（密集・密接・密閉）を徹底的に回避すること。
- ・ こまめな手洗い・手指消毒をすること。

### 2. 具体的な感染症対策

#### （1）講習会前・参加受付時

- ・ 会場内、備品の消毒をする。（スタッフ、参加者が触れる箇所）
- ・ 体操開始までマスクを着用するように呼びかける。
- ・ 受付窓口に手指消毒剤を設置し、来場者に手洗い・手指消毒を促す。
- ・ 発熱や軽度であっても風邪の諸症状がある人は参加しないように呼びかける。
- ・ 受付をするスタッフはマスクを着用する。その際、対人距離に留意する。  
（会場に移動式アクリル板がある場合は、借りて設置する。）
- ・ 待機列の間隔は前後2m空けるように呼びかける。
- ・ 参加ガイドラインを配布し、遵守するように呼びかける。

#### （2）講習会中

- ・ 前後左右の間隔を2m空けるように整列させる。
- ・ 参加者の前で挨拶・指導をする際はマイクを使用する。
- ・ 定期的な換気をする。（毎休憩時、1回あたり数分間）
- ・ 参加者が発声したり、参加者同士が対面・接触したりするような練習は行わない。

#### （3）休憩中

- ・ 休憩に入る前に以下の3点を徹底するように呼びかける。  
①マスクの着用 ②対人距離の確保 ③タオル・飲食物の共有禁止

- ・未来ポイント付与の際の混雑を避けるため、待機列を作らないように呼びかける。その際、未来ポイントを付与できる休憩時間が複数回あることを周知する。
- ・未来ポイント付与時、スタッフは手袋を着用する。

#### (4) 講習会終了後

- ・会場内、備品の消毒をする。(スタッフ、参加者が触れた箇所)
- ・手洗い・手指消毒を呼びかける。
- ・参加者同士の不要な会話は避け、速やかに帰宅するように呼びかける。

### 3. 総おどり体操講習会の定員について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の一覧表のとおり、当面の間講習会の定員を通常の半数以下にする。

区	会場	定員 (名)		
		通常時	⇒	コロナ対応
北区	豊栄地区公民館	40	⇒	20
東区	東区プラザ	40	⇒	20
中央区	新潟市総合福祉会館	80	⇒	40
	クロスパルにいがた	50	⇒	25
江南区	江南区文化会館	30	⇒	15
	亀田市民会館	60	⇒	30
秋葉区	秋葉区文化会館	40	⇒	20
	小須戸まちづくりセンター	40	⇒	20
	新津健康センター	50	⇒	25
南区	南区白根健康福祉センター	30	⇒	15
西区	西新潟市民会館	50	⇒	25
	小針青山公民館	30	⇒	15
	内野まちづくりセンター	40	⇒	20
	西総合スポーツセンター	50	⇒	25
西蒲区	巻地区公民館	30	⇒	15
	岩室地区公民館	40	⇒	20

### 4. 適用期間

本ガイドラインの適用期間は新型コロナウイルスの感染が終息するまでとし、感染状況に変化があった場合には、必要に応じて見直すものとする。